

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)図書館法第3各号に規定する事項に関すること。 (2)図書館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (3)市史販売等に係る料金の徴収に関すること。 (4)読書の普及活動及び読書団体の支援に関すること。 (5)図書館法第2条に掲げる目的のために必要な事業の運営に関すること。

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。(子ども情報センターにおいては利用冊数とする) ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(108%)=利用冊数(71,950冊)÷66,689冊(上記②適用)	年次報告書P298(利用冊数) 平均値比(108%)=(71,950)÷(66,689) 開館日数:295日(R3:263日) R4:71,950冊(R3:66,689冊)	5点	
				5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。(子ども情報センターにおいては貸出人数とする) ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値		平均値比(109%)=利用人数(延べ13,804人)÷12,621人(上記②適用)	年次報告書P298(利用人数) 平均値比(109%)=(13,804)÷(12,621) 開館日数:295日(R3:263日) R4:13,804人(R3:12,621人)		
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P299～300 ①SDGsに関する取り組み SDGsってなんだろう～考えよう わたしたちの未来～(85名) ②たじみ子どもの権利の日協賛事業 世界の国に目を向けよう!てをつないだらみんなともだち(100名) ③多治見市子ども情報誌/子ども夢ネット発行(年3回×11,000部) ④陶器まつり同日開催/ベビーステーション(12名) ⑤図書展示事業 絵本、児童書、ティーンズ、一般書、企画展示実施。(94タイトル)	仕様書以上 14点	①図書特別展示「よんではっけん!SDGs」では、SDGsについて学び、その課題に楽しく触れられる場を提供。子どもたちの自主的な発見、気づきを促す仕組みを取り入れた。気づいた目標や本を職員と確認し、展示に加えていくことで、一緒に展示を作り上げながら、SDGsと向き合い、自分たちにできることは何かを考える時間を提供した。 ②世界の国旗とジンジャーマンで、オリジナルのジンジャーマンを作成。「100人のおともだち」と題し、手と手を繋げて展示を実施。多治見市子どもの権利条例の前文で謳われている「平和と環境を大切にし、世界とつながっていくまち」についての、直接的な啓発活動になっている。	14点			
				(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P301～307 ①中学生・高校生の活躍とつながり「たじみアグレッション部」 (1)レッツクイズ(多西中・高校クイズ研究部)、(2)個人作品展と年末年始の生け花(多西高茶華道部)、(3)クロバネキノコバエについて研究発表(多北高自然科学部) ②0からはじめるSDGs (1)包んでカワイイ毎日ふろしき(36名)、(2)コケ玉づくりワークショップ(29名)、(3) 多肉植物よせうえワークショップ(16名) ③おはなしの会 (1)4種類のおはなしの会(48回797名)、(2)託児付き講座:絵本専門士・森岡由紀子氏による「赤ちゃんがはじめて出会う絵本の講座」(17名) ④親子講座・ワークショップ (1)ママヨガプラス(20回243名)、(2)そざい探検ひらめきLABO(3回139名)、(3)中山けーしーワークショップ/オリジナルカードでじゃんけん対決!(66名)、妖怪くらぶ(3回12名)、百鬼夜行展&スタンプラリー(175名)、(4)ニットなアイツ「クレイジーパラブレスレット」を作ろう(41名)、(5)ドラムサークル(42名)	期待以上 13点	①「たじみアグレッション部」では、継続して中高生の活躍の場を提供。SDGs関連事業として、多北高自然科学部による研究発表を兼ねた講座を開催。身近で発生する「コバエ」をテーマに、子どもたちに向けクイズを交えて実施。中高校生の活躍の場を提供している。 ②絵本専門士・森岡由紀子氏を招き、赤ちゃんとふれあいながら楽しめる絵本の読み方・選び方を伝える講座を開催。託児サービスを取り入れ、赤ちゃんと離れてじっくりと話が聞きたい親のニーズに対応。赤ちゃん絵本の特徴と併せて、赤ちゃんの育ちについて伝えることができた。 ③イラストレーター・中山けーしー氏による百鬼夜行展示と展示を活用したスタンプラリーを実施。展示のサポートスタッフとして子どもたちによる「妖怪くらぶ」を立ち上げ、中山氏と共に妖怪談義を楽しみながら、多治見市にまつわる妖怪図鑑を作成。小学生の「好き」から始まる活動にじっくり向き合う取り組みとなっている。	13点	
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃 ②保守・点検 ③保安・警備 ④小規模修繕 ⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	年次報告書P308 ①業者による全館定期清掃の他、施設周辺に敷かれているレンガの洗浄・苔取りを実施。 ②職員にて芝生の手入れを実施。枯れていた箇所目土を敷き、専用肥料を散布。外階段ステップタイル、蛍光管カバーの清掃。2階研修室ワックス掛け、生け垣の剪定清掃。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点			
				①消防用設備点検は、業者に委託し年2回実施。 ②職員による月2回の日常点検及び年2回の定期点検、空調点検をチェックシートに従い実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
				①業者による機械警備業務を毎日実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
				①有償修理 全5件、総額244,200円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					
				①職員による月2回の日常点検及び年2回の定期点検をチェックシートに従い実施。全職員が担当し、予防保全の観点からの建物管理を徹底、不具合箇所の早期発見に努めた。(除菌機ドアのコーナークッション設置、外階段ステップタイル苔取り清掃、玄関脇鎖樋メンテナンス)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。					

